

### 昭和63年度 保育園入園のご案内

| 保育園名    | 住所    | 電話      | 定員    |       |
|---------|-------|---------|-------|-------|
|         |       |         | 3歳以上児 | 3歳未満児 |
| 中央保育園   | 橋本    | 82-2165 | 162人  | 18人   |
| 和納保育園   | 和納7区  | 82-3009 | 126   | 14    |
| 和納第2保育園 | 和納12区 | 82-2169 | 72    | 8     |
| 間瀬保育園   | 間瀬4区  | 85-2131 | 30    | 5     |



園立保育園では昭和六十三年度の入園申し込みの受け付けを今月十八日から行います。

【資格】 保育園に入園できるお子どもは、お母さんが会社に勤めているなど次のいずれかに該当する場合です。

■入園基準 1 ①外勤：母親（祖父）が日中、五時間以上の仕事を一か月に二十日以上自宅以外で働いている家庭 ②農業：水田2ヘクタール、畑作1ヘクタール、野菜園芸（ビニールハウス）、乳牛10頭、養豚100頭以上の農作業を行っている家庭

■入園基準 2 ①自営：商店などをしていて、家庭では、母親が営業の中心者か手伝いなどで一日五時間以上働いている家庭 ②内職：日中家庭内で内職をしている家庭や母親（祖父）が生計を助けるために一日五時間以上、一か月に二十

### 入園申請書の受付

□会場は1月18日～22日までの岩室、和納地区はいずれも役場2階研修室。1月23日の間瀬地区は間瀬地区公民館です。

| 日              | 時             | 受付地区                              |
|----------------|---------------|-----------------------------------|
| 1月18日<br>(月曜日) | 午前 9:00~12:00 | 石瀬                                |
|                | 午後 1:00~4:00  | 金池・久保田・猿ヶ瀬                        |
| 1月19日<br>(火曜日) | 午前 9:00~12:00 | 岩室                                |
|                | 午後 1:00~4:00  | 樋曾・栄・橋本                           |
| 1月20日<br>(水曜日) | 午前 9:00~12:00 | 和納12区                             |
|                | 午後 1:00~4:00  | 津雲田・富岡・高橋                         |
| 1月21日<br>(木曜日) | 午前 9:00~12:00 | 南谷内・北野・夏井西中                       |
|                | 午後 1:00~4:00  | 湯上・白鳥・西長島<br>横曾根・西船越・<br>新谷・油島・高畑 |
| 1月22日<br>(金曜日) | 午前 9:00~12:00 | 原・和納1区~4区                         |
|                | 午後 1:00~4:00  | 和納5区~11区                          |
| 1月23日<br>(土曜日) | 午前 9:00~12:00 | 間瀬1区~7区                           |

# 保育園児

## 募集します

受付 ■ 1月18日~23日

日以上家庭内で内職をしている家庭

■入園基準 3 母親が亡くなったり、失せ、住み込み（長期間）、別居などで常時家庭にいない家庭

■入園基準 4 ①出産：出産予定日の二か月前から出産後五か月以内にある場合 ②病気の状況 ③心身障害者の場合

■入園基準 5 入園児童の家庭に長期間病気の人や心身に障害のある人がいて、母親（祖父）が日中四時

間以上自宅内外で看護している場合

①病院などで付き添いで看護をしたり、心身障害者（児）の通学の付き添いなどで保育をすることができない場合 ②病院などに通院する人の付き添いや寝たきりの人の看護にあたる場合、または同居の家族に一〜三級の身体障害者や精神に障害のある人がいるため、その介護を必要とする場合

■入園基準 6 地震や洪水、火災などの災害で家を失ったり、被害を受けたたりしてその復旧にあたる場合

【入園の申し込み】：各保育園、役場住民福祉課にある申請用紙に家族の源泉徴収票の写し（昭和六十二年分）か給与証明書、内職証明書などを添付して別掲の受け付け日に申し込みください。

【問合せ】：役場住民福祉課福祉係（☎②四一一一内線一一二）へどうぞ。

### 図書室の本棚から

#### — 新刊図書 —

- ▷文学 子どもに語り（林の木社）越後の親鸞（講談社）大愚良寛の生涯（恒文社）高僧伝10巻（集英社）じくぞく校長記（文芸印刷）新潟の作家（テレビ新潟放送網）剣客商売10巻（新潮社）新鬼平犯科帳19巻（新潮社）
- ▷歴史 地球大紀行6巻（日本放送出版協会）考古写真の技法（ニューサイエンス社）発掘が語る日本史（東海・北陸）（新人物往来社）伝承遊び事典（黎明書房）国宝の旅6巻（日本放送出版協会）日本歴史文学館17巻（講談社）日本の遺跡発掘物語10巻（社会思想社）
- ▷地理 世界知の旅10巻（小学館）世界の国立公園6巻（講談社）ふるさと日本列島8巻（毎日新聞社）日本の24時間Japan（ほるぷ出版）イスラム事典（東京堂）図説佐渡金山（河出書房新社）万里の長城（河出書房新社）世界の大遺跡6巻（講談社）ペンションガイド（全国編）（日本交通公社）日本の名旅館（日本交通公社）日本のホテル150選（日本交通公社）
- ▷社会 言論は日本を動かす10巻（講談社）知的生活の方法（正・続）（講談社）経済がわかる事典（日本実業出版社）経営がわかる事典（日本実業出版社）初めての人もわかる株の売買一切（日本実業出版社）
- ▷科学 やさしい車いじり4巻（JAF出版）超電導とは何か（日本経済新聞社）超新星（海鳴社）コンピュータのことがわかる事典（日本実業出版）野草ハンドブック12巻（山と溪谷社）
- ▷家庭 ラブおばさんのクッキング3巻（鎌倉書房）自炊する人のやさしい料理（日本放送出版協会）暮らし上手の家事ノート（鎌倉書房）ミセス洋裁ノート10巻（文化出版局）
- ▷健康 食事で治す糖尿病（主婦の友社）食事で治す高血圧（主婦の友社）食事で治す胃潰瘍・十二指腸潰瘍（主婦の友社）食事で治す腎臓病（主婦の友社）食事で治す肝臓病（主婦の友社）レクリエーションスポーツ種目全書（遊戯社）
- ▷その他 クロニク20世紀全記録（講談社）新人類がやってきた（PHP研究所）タテ社会の人間関係（講談社）税金がわかる事典（日本実業出版社）他人に聞けない文章の書き方（日本実業出版社）仕事で嫌になったとき読む本（PHP研究所）「縮み」思考の日本人（学生社）マスコット大百科（雄鶏社）裏千家お茶の道しるべ（主婦の友社）草人木書苑26巻（淡交社）幸運を呼ぶ名づけ方（主婦の友社）新編赤ちゃんの名づけ方（主婦と生活社）

まずグラフ：●をご覧ください。六十一年度利用した人は五千二百三十三人、実質二千二百二十二人で、貸し出し冊数は一万二千八百二十冊でした。今年度の状況では先月末現在で、利用した人が四千三百十九人、貸し出し冊数は一万百十二冊になっています。

五十九年度までは徐々に増え続けてきましたが、間瀬地区公民館がオープンした六十年度は利用した人の数こそ増えたものの、貸し出しの冊数はちよつと落ち込んでしまいました。続いて六十一年度もさらに落ち込みが目立っていますが、先月末までの実数とことし三月末までの推計で予想すると、今年度は利用者数が五千七百五十八人、貸し出し冊数が一万三千四百八十二冊とやや上向き傾向です。

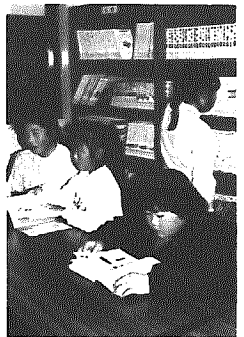
ここに公立図書館の望ましい基準

として示されている数字があります。それによると、年間貸し出し冊数（貸し出し率）は人口の二倍、利用登録率は人口の一五％となっています。本村の場合は、年間貸し出し冊数は一・二倍、利用登録率は一九・九％です。つまり、村民一人当たりになると、一・二冊の本を借りている計算で、図書室を利用した人は村民の約五人に一人ということになります。

この数字から分析すると、村民のみなさんは、わりあい図書室を利用しているようですが、二つの図書室がともに公民館、地区公民館に併設されている利便性のよさのせいでしょうか。

しかし、利用登録者数が一年単位の更新をしていないため、実際にはもう少し低い数字になるかもしれません。

### 利用してください あなたの書齋です



ともかくわりあい本好きの岩室村民ですね。間瀬地区公民館の図書室を学校帰りに利用する田中さんや田中さんの友達のように、子供のうちから本に親むことは本当に良いことだと思いますし、これからの図書室の利用に期待がもてます。

村では、もつともつと図書室の蔵書を増やし、村民のみなさんがここに住んでいても、どんな時でも読みたい本をすぐ提供したいと考えています。

ます。現在一万二千五百六冊（岩室村公民館一万一千七百五十五冊、間瀬地区公民館七百五十一冊）の蔵書がありますが、これをまず二万冊にすることを目標にしています。

りっぱな資料や各種サービス、そして新刊図書（購入は年間二館合わせて百二十万円）などを充実させても、村民のみなさんに利用されなければ無価値に等しくなります。しかも特定の人が利用するのではなく、子供からお年寄りまでみんなから本に親しんで利用してほしいと思います。

いま本を買えば一冊平均千円以上になります。買わずに公民館の図書室をあなたの書齋にしてみたいかがですか。

また、「こんな雰囲気図書室にしてほしい」など、ご意見・ご要望がありましたら公民館へご提言ください。